

平成20年度事務事業評価表	担当	教育委員会 庶務課	内線等	1624
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	中学校建設事業			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	4. 豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名	学校教育	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	災害に強いまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み			

事務事業の内容

対象(受益者)	生徒のために
手 段	中学校の校舎等の施設整備を行うことにより
成果、目標	安全安心な学習環境を確保する。

成果指標

成果指標名	校舎、体育館耐震補強工事実施率		校舎、体育館耐震補強工事進捗率	
成果指標の説明	(年度内補強実施棟数 / 年度内補強予定棟数) × 100		$\{(\text{実施棟数} + \text{補強済棟数}) / \text{補強必要棟数} (45棟) \} \times 100$ 平成21年度の実施棟数は、当該年度工事着手分も含む実施予定棟数とする。	
指標の推移	平成19年度決算(実績)	平成20年度決算(実績)	平成21年度予算(計画)	
成果指標	100%	100%	100%	
成果指標	66.7%	71.1%	73.3%	

事業の概要

(千円)

項 目	平成19年度実績		平成20年度実績		平成21年度計画	
校舎耐震補強	1棟	31,353千円	1棟	16,157千円	1棟	140,000千円
体育館大改・補強等	1棟	140,380千円	1棟	23,515千円	0棟	0千円
前年度までの補強済棟数	28棟		30棟		32棟	
校舎新築	0棟	0千円	0棟	0千円	1棟	538,000千円
実施設計委託	1棟	1,312千円	1棟	21,287千円	9棟	18,344千円
プール改修	0校	0千円	0校	0千円	0校	0千円
その他	1校	1,890千円	0校	0千円	4校	16,000千円

事業にかかる人工

(単位：人)

人工計	0.50人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.00人	係長級	0.10人	一般職	0.30人	非常勤	0.00人	再任用	0.00人
-----	-------	-----------	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

人件費 を含む 事業費	事業費	60,959
	人件費	3,560
	合計	64,519
財源 内訳	特定財源	9,609
	一般財源	54,910

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	学校教育法に基づき、公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針及び公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本計画に従って実施する。
-------------	----	---

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
------	-------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	実施設計の早期実施により、全体の事業規模を正確に掴むとともに、年度ごとの事業量を適切に配分した計画作成を行った。
現在の課題、問題点	財政的には国の補助金によって耐震化事業計画の前倒しが可能となる見込みだが、それに伴う複数の学校の耐震化工事の同時進行によって、一時的に工事を管理監督する技師が不足することが、問題点としてあげられる。また同じ原因により、工事日程と学校行事予定とのすり合わせ等の現場調整が複雑化することも問題点である。
今後の改善計画	平成21年度以降は、学校校舎の耐震化工事、災害時避難所多目的トイレの整備工事など、一時的に学校建設事業が増加するため、耐震化率など目標達成度が上がる見込みである。今後は、夏期休業期間を中心とした工事を行うなど、学校運営に支障をきたさないような学校行事等日程の調整が課題である。